

12月、師走です、今年も残すところ一月弱になりました。日中は依然として30度くらいまで気温が上がり残暑？が続きますが、朝晩は快適になってきました。皆様如何おすごしでしょうか。

11月27日28日に毎年恒例のダカール・国際安全保障フォーラムが開催され、日本政府を代表して堀井外務副大臣が参加しました。

ダカール・フォーラムは今年で9回目となりましたが、そもそもはサル大統領のイニシアティブにより始まったものです。サル大統領は来年の大統領選挙に立候補しませんので大統領としては最後のフォーラム出席になります。自ら立ち上げたこのフォーラムに対して個人的な思いがあるのでしょうか、大統領の開会式スピーチでは地域の安全保障問題に留まらず、開発問題、グローバルガバナンスやファイナンスの問題等、大統領が長年取り組んで来た国際社会の諸課題についての大統領の思いが語られました。

堀井副大臣は開会式の最初にスピーチを行いました。TICADを通じての取り組みや本年の岸田総理のアフリカ訪問の成果等、最近の我が国のアフリカへの取り組みを力強く訴えて頂きました。開会式はTVで生放送され、フォーラムの中でも最もハイライトされるイベントですが、そのトップで日本の代表が発言し日本の政策を訴えることができたことは大変結構なことだと思います。

副大臣はサル大統領他セネガル要人とのバイ会談を行い、二国間関係を経済協力、ビジネス、交流の幅広い分野で発展させるという方針が再確認されました。また、CFPT視察やENDSSの引き渡し式に参列されて、日本の経済協力がセネガルの発展に大きく貢献していることを十分理解して頂きました。更に、企業関係者との意見交換や在留邦人との意見交換でもセネガルとの二国間関係の重要性について認識を深めて頂きました。

今回の訪問の最後に、副大臣より、日本とセネガルの交流強化の必要性について十分理解したとお言葉を頂き、本使としては大変うれしく思いました。訪問は大成功でした。この場を借りて副大臣の訪問にご協力頂いた邦人の皆様へ感謝を申し上げます。

この1年を振り返ると、セネガル情勢では今年前半には大統領選挙との関連で少し緊張しましたが大きな政治的混乱になることなく収まりました。日本との関係では昨年末のサル大統領の訪日の成功や、初めての本格的な日本アニメイベントの開催や日本語教育のスタートなど新しい取り組みをすることができました。また、日本企業の支援のためにセネガル政府との経済委員会の開催や大使館館との定期連絡会を立ち上げることができました。実りある1年だったと思います。

改めまして皆様のご協力に感謝申し上げます。  
少し早いですが皆様良いお年をお迎えください。